

普及活動情勢報告（令和2年6月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

指導関係者にスマート農業を紹介 ～実演見学会～



スマートフォンで栽培管理システムを体験

6月10日、営農支援センター四万十(株)にて『スマート農業実演見学会』を開催し、普及指導員及びJA営農指導員ら24名が参加しました。普及所は、県内への普及を進めるため、スマート技術の実物展示、特長の解説、動画上映、操作体験を通じて、理解を深めてもらいました。アンケート結果では、各地域での導入が検討されている『散布用ドローン』や法人など大規模経営体での利用が想定される地図情報を活用した『栽培管理システム』への関心が高く、実演見学会を通して参加者の興味を更に高めることができました。

普及所は、四万十町を中心とした中山間地域でのスマート農業の推進を図っていきます。

農業法人の決算処理について研修 ～集落営農法人会計研修～



決算の繰り越し処理を確認

6月16日、JA高知県四万十支所にて「集落営農法人会計研修」を開催し、管内の集落営農法人の4法人が参加しました。

普及所担当者から農業経営基盤整備強化準備金や、従事分量配当制度の基礎知識について講義した後、各法人が持参したデータに基づいて年度末決算の繰り越し処理の確認作業をJA高知県四万十営農経済センター職員とともに行いました。

参加した法人からは「従事分量配当を概算で支払った場合、収益が見込みより少ない時の処理に困っていたので、適切な支払い方法を聞いてよかった」と声が上がっていました。

普及所は四万十町内の集落営農法人の経営安定化を支援していきます。

コロナに負けるな ～高収益作物次期作支援交付金の受付～



農家の取組を確認

6月17、19日に役場とJAの担当者とともに四万十町十和地域振興局で高収益作物次期作支援交付金の受付を行い、ナバナや茶などの農家78名の申請を支援しました。普及所から土づくりや肥料・農薬の導入など、具体的な取組事例について説明し、農家が次期作で取り組む品目や面積、二つの取組項目を確認しました。

普及所は今後、現地検討会などを通じて農家の取組が収量や品質の向上につながるよう支援していきます。